

鶴が丘だより

「年のはじめに
「安定の中の不安定」と
どう向き合ふかと

院長 後藤 昭子

◆①これから日暮は
◆昨年の漢字から
◆今年の漢字から
◆不安定からの回避と前進
◆先の見えない不安定さを
他者への攻撃に向ひず、発展的
に昇華するためには必要な
ことじょう。

謹んで新春のご挨拶を
申し上げます。暖冬で和や
かな日差しの中、皆様清々
しい新年をお迎えのことと
存じます。

日頃は当院の運営にご理
解とご協力を賜り、誠に有
難うございます。

今年も新年号は私が手書
させて頂きます。

◆安定の中の不安定
現在の日常生活は、一見安定
していますが、その割に幸福感が
少なく、多くの方が今後の不安
を抱えていると言われています。
高齢化、人口減少は言うまでも
ないですが、精神医学では
昇進うつ、マリッジブルー等、喜び
もストレスとなり得ることが分かっ
ています。もしかしたら、2020年の
オリンピックも東京と同時に
否の因にならうかも知れません。

ものは、人との絆、文化など
あるとも、プロイントは説ります。
ひと興味深い報告があります。
周囲に理解されると感じて
いる子供は、孤独を感じた子
供に比べ、学習成績が10%以上
伸びたとあります。

柴田副主任(訪問看護)

スタンプ・リレー

ある日の
鶴が丘

「安」は後述の病院理念にも
あるように、本来優しくかつ力強い
字ですが、誰もがそれを素直に
感じられるようになる事を
願ってやみません。



◎一言◎

訪問看護を通して、誠実かつ暖か
みのあるかかわりを心がけています。
これからもおけます!よろしくお願い
します。

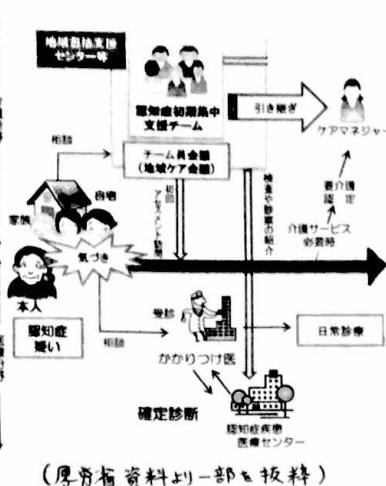
また音楽や絵画等により、
ある時は癒され、またある時は
発散でき、これらが人間の本質に
訴えかけることは言うまでも
ありません。

当院の作業療法やデイケア
プログラムでも、盛んに取り入れられ
ています。

◎訪問看護につ
いては、3月号の鶴
が丘だよりに掲載予
定です。



◆アラリー4の時代へ
町田市では「認知症初期支援
チーへー」が始動し、昨年より
当院も参画しました。



これは認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)に基づいて、全国1700自治体中40番目、都内では2番目に着手された事業です。具体的には介護抵抗型サービス導入困難事例を、市の事業として多職種で訪問し、治療に結びつけていくことを目的とします。

当院も参画しました。これは認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)に基づいて、全国1700自治体中40番目、都内では2番目に着手された事業です。

①精神医療の動き

のひきこもりや支援拒否の方も利用ひきこもるようになると理想的です。

②当院の動き

◆地域医療のニーズに応えるために

昨年一年間で318名の方が入院し、317名の方が退院されました。また、昨年度も長期入院者の退院支援に成功し、地域移行実施加算の認可を受けました。



◆長津田いこいの森診療所の一年
昨秋に通院患者様が1000人
何年も閉居し自宅が極端に不衛生に陥ることも珍しくなく、訪問というより救出に頼わくば、該当年齢(65歳)以下

訪問看護について
昨年よりスタッフを増員し、月間約100件であったケースが約150件に増加しました。
多摩丘陵の二の地では、例えば自宅前の坂道が不安で通院が困難にならざるを得ない高齢の方が沢山いらっしゃいます。

間違いない今後の医療の主軸になるものです。
通院中でご希望の方からしゃいますたら、どうかスタッフをお手がけ下さい。

- ・人の心身を癒す天職に誇りと畏れをもって勤めます。
- ・患者様の人格を尊び、努力して新しい良質な精神医療、看護、福祉を提供します。
- ・ご家族、地域社会とスクームを組み、患者様が再びご自分で暮らせるお手伝いをします。

「この病とそのつきあい方

家族教室・講演会
の「案内

①損得抜きなら
何でもできる

②礼儀正しさも
ほどほどに

今月の：

医療法人社団 鶴永会

鶴が丘ガーデンホスピタル
TEL:044-988-3121
東京都町田市三輪緑山2-2133-1
長津田いこいの森診療所
TEL:045-507-7656
神奈川県横浜市緑区長津田4-11-14

* 2016年2月20日(土)
13:30
* 当院デイケア棟